

項目		説明
試料・情報の利	研究課題名	進行性腎細胞癌に対する分子標的薬治療の実態調査
用目的 及び 利用方法	研究目的	目的：腎細胞癌に対する分子標的薬による治療の実態を明らかにする 対象：横浜市立大学附属病院・神奈川県立がんセンター・横須賀共済病院で2008年1月から2016年12月までの期間に腎癌分子標的薬（スーテント、ネクサバール、インライタ、アフィニートル、トーリセル、ヴォトリエント）による治療を受けた腎癌患者さん 性別は問わない 方法：上記施設において治療を受けた患者さんの診療情報を既存のカルテ、画像データから収集して実臨床における分子標的薬治療の実態を調査する
	研究期間	西暦 2018年 2月 8日 ~ 西暦 2022年 9月 30日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	泌尿器科 岸田 健
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市立大学附属病院 泌尿器科 中井川 昇 横須賀共済病院 泌尿器科 小林一樹